

名残の雪と、ツバメ来たる穏やかな陽光は今日という日をずっと待っていたかのようです。

20期生とご家族の皆さま、ご入学おめでとうございます。今の溢れんばかりのやる気と心地よい緊張感を大切にしてください。

この先で待っているのは、6年という長い坂道です。何度も涙したり、投げ出したくなる時を乗り越えなければなりません。覚悟はできていますか。

夢の実現の日まで、皆で力を合わせ、先輩たちに続けてください。今まで気付かなかった未知の自分を必ずや発見するはずです。

さて、世界は今、地球的規模で鳴門の渦潮にも似た激しい波に被われています。世の逆境を跳ね返して社会をリードする若い力が求められています。高い志をもってチャレンジしてください。

「二本ある手のどちらかは誰かのために使えるように」
(永六輔)

「一日の計は朝に在り。一年の計は春に在り。一生の計は少壮の時に在り。」（幕末の儒学者安井息軒）と言われます。共に頑張りましょう。

結びに、校長先生をはじめ教職員の皆さま、この豊かな自然と恵まれた学習環境の中で、ここ津南中等の教える庭で、切磋琢磨して学ぼうとする俊英の新生を、熱くご指導頂けるようお願い申し上げます。生徒にとってきっと人生を左右する出会いとなることでしょうから。

令和7年4月7日

津南町長 桑原 悠